

## 戦前期写真約千点をデータベースで公開

若杉 隆志

OISR.ORGでは、新たに、研究所が所蔵している社会・労働運動関係の写真のうち戦前期のものを中心に約千点を「写真データベース」で公開しました。

検索画面でキーワードを入力すると画像のあるデータはサムネイル画像が表示され、さらに「画像」をクリックすると拡大画像で写真を見ることができます。

写真データベースは2004年2月に公開しましたが、当初は、所蔵情報のテキストデータのみでした。どんな写真がどれほど所蔵されているかについては知る事ができました。しかし肝心の写真の画像そのものは直接問い合わせで頂くしか方法がありませんでした。今回の公開で、戦前期の写真についてはこの問題が解決したことになります。

また、今回のバージョンアップでは、あらたに、大部分のタイトルについて英訳を付し外国人のニーズにも対応しています。

研究所で現在所蔵している写真は約千件です。整理済みの写真を主題ごとに封筒に入れキャビネットに収納していますが、その封筒の数です。キャビネット以外にもアルバムに貼られた写真もけっこうあります。その封筒やアルバムの数が約千件です。写真の総枚数はきちんと数えたことはありませんが、おおむね5千枚程度と思われる。5千枚には一部図書資料から

複製したものも含まれています。また、絵葉書も写真と一緒にキャビネットに収納し、管理運用していますのでこのデータベースに含まれています。今回画像を公開したのは戦前期の生写真・絵葉書で封筒の件数で483件、写真枚数は1194枚です。

表示項目で「資料の形態」という項目があります。ややわかりにくいので補足すると、所蔵資料が生写真の場合は「写真」、写真を複製したものは「コピー」、図書資料から複写したものは「複製」、フィルムのみの場合は「フィルム」と表示しています。

写真は研究者やマスコミ関係の方などから、自著の口絵として、また、教科書の歴史史料として労働争議や小作争議の写真を掲載するといった利用のされ方がよくあります。

利用ですが、個人の方が調査・研究目的で私的に写真データを利用することは自由にできますが、刊行物への掲載など印刷媒体で利用する場合、あるいは、放送や展示など公に利用する場合は営利か否かにかかわらず必ず事前に研究所に連絡の上、所定の手続きをとっていただきます。営利目的の場合は所定の使用料金が必要となります。使用料のほかクレジットの明記、掲載した刊行物の1部提供などを利用条件としています。

よく利用される写真を数点紹介しましょう。

社会民主党の創立発起人の集合写真（1901年）、野田醤油労働争議（1928年）、鐘紡兵庫工場労働争議（1930年）、香川県伏石小作争議の絵はがき（1921年）などです。

データベースの今後の展開としては、件名など入力内容をより適切にして検索の精度を上げること、一部未了となっているタイトルの英訳

をすべてのデータにつけることなどです。また未整理資料の中に含まれている写真の整理・データベースへの統合、戦後期写真のデジタル化も今後の課題となります。

（わかすぎ・たかし 法政大学大原社会問題研究所  
所員（主任））

鐘紡兵庫工場労働争議（1930年）SI-02-014-02.jpg



伏石小作争議の絵葉書（1921年）S3-02-007C.jpg



伏石小作争議の絵葉書（1921年）S3-02-007C.jpg  
（行發部販出會合聯縣川香合組民農本日）